



[bi:]
 1. ビー (英語アルファベットの第2字)
 2. (通常B) 口音、口調、
 3. (学業の) B、良

ABCなら何でもありよこのコーナーABCなら何でもありよこのコーナーABCなら何でもありよこのコーナーABCなら何でもありよこのコーナー

Babe/ベイブ

ご存知、大ヒット映画「ウェインズ・ワールド」からのウェイン語で、**可愛い女の子**を指している。以下はズラリ、Babeの活用形だ。Babilicious (ベイブリシャス) ベイブとデリシャスの合体語、つまり食べちゃいたいくらい可愛い女の子。Mega-babe (メガ・ベイブ) 超可愛い女の子。Robo-babe (ロボ・ベイブ) **ロボコップぐらいに強烈に**、カワイイ女の子。Babe-alon (ベイピロン) ベイブ+バビロンで、可愛い女の子が大勢いる国。

大量生産制をとり、カラオケ時代を狙った歌い易さも忘れない。確かにヒットの連続。だが「金儲け主義」「どの曲もみな同じ」「造られすぎ」との非難も多し。そうかもしれない。「歌はココロよ」淡谷のリ子大先生だって、おっしゃっているのではないか。

Bangla・Beat/バングラ・ビート

イギリス在住のインド・パキスタン系ミュージシャンから派生した音楽で、現在ロンドンのダンスフロアはこれ一色だとか。ひとことで言うとヒップホップ、レゲエ、ハウスに**インド音楽**をプラスしたようなもの。グルーヴィかつエキゾチック。日本でも「あれ一体、誰?」と話題になった**アパッチ・インディアン**を始め、今後も続々と新人が登場。また新たなダンスシーンが展開しそう。

Bi-Sexual/バイ・セクシュアル

両刀使いのこと。「個人の性的嗜好は遺伝的なものか、それとも学習によって形成されるのか」との疑問がアメリカで論議を呼んでいる。もし遺伝という説が正しければ、同性愛も異性愛と同様まったく自然な形であり、従って更に差別を受けるのはおかしいということになる。だが生涯の間に性的好みが変わったというケースも多々あり、簡単に遺伝のせいであるとも言いきれないのが現状だ。「**気がついたら、こうだった**」——これは同性愛あるいは両性愛の傾向を示すいわゆるマイノリティの人々からよく聞く発言である。つまり遺伝にしろ後天的なものにしろ、意識してなったのではないということだ。この言葉が全ての答えにはならないだろうか。**異常が正常か**、どちらかのレッテルを貼る以前に、マイノリティを区別しようとするその作業こそが差別の始まりであるということに、我々は気づくべきではないのだろうか。

Batik Print/バティック・プリント

この夏、流行りの呼び声高い、**ろうけつ染による更紗柄**のこと。ジャワ更紗ともいう。エコロジーの影響か、本来イージーパンツなどルーズなスタイルが多かったが、今年は逆に、カチッとのお洒落っぽいアイテムでキメるのがイン。

Boom Box/ブーム・ボックス

ラジカセのこと。黒人が恐ろしく大きなラジカセを肩にかついで、悠々と歩いてゆく姿を見たことがあると思うが、あの手のラジカセだ。スタンダップ・コメディアン大概珠代のジョークにこんながある。「黒人の皆さん! あんた達は差別されてるけど、私らは黒人にいつも**感謝**してるのよ。だって日本人が作ったデカイラジカセ買って**ウロウロ**歩き回ってくればるやん。日本人もあれ持って歩きたいんやけど、実は重くてよう持たん。そやし私ら日本人は仕方なしに**ウォークマン**を発明したんよ」

Between you and me/ここだけの話

“あなたとわたしの間だけ”ということはこちらだけの話、つまり「**内緒なんだけどさあ**」と相手にクギをさす言葉。Between you and me, they finally broke up. (ここだけの話、あのふたり別れたんだって)

Brady Low/ブレイディ法

1981年のレーガン大統領暗殺未遂事件で重傷を負い、下半身不随となったジェームス・ブレイディ元大統領報道官の名にちなんでつけられた銃規制法。現在**2億丁を超す銃が存在する**というアメリカでNRA (全米ライフル協会) の反対を押し切り、法案提出から6年10カ月後ようやく成立した。といっても決まったのは「購入希望者の**犯罪歴**を調査するため5日間の待機義務を設ける」という内容で理想の銃規制とはほど遠い。あと何人、犠牲者が出れば済むのだろうか。

Big Shot/大物

かなり古いですが、ビリー・ジョエルの曲のタイトルにも登場したBig Shotは、**大物、たいした奴**の意味。Big Time、Big nameも同様。この他にbigがつく表現はBig Mouth (ビッグ・マウス) 大口をたたく、Big Head (ビッグ・ヘッド) うぬぼれる、Big Talk (ビッグ・トーク) 大ウソなど、日本語とそう変わらないのだ。

Buttered Popcorn/バター・ポップコーン

アメリカ人のポップコーン好きには凄いのがある。カウチポテトやスポーツ観戦など、いつでもどこでも片手にはポップコーン。特に映画館では絶対ハズせないようで、椅子の肘掛にポップコーンのカップを入れる穴があいた映画館まであるくらい。おまけにつまらない映画には、皆がござってスクリーンに向かって**投げ付けるのが普通**なのだ。日本と違ってポップコーンには溶かしバターをたっぷりかけるのがアメリカ風。だがこれ栄養学的に「**最も体に悪い食品**」のひとつだそうで、煙草と同様、極力控えるようにとの警告が出ているとか。

B-Gram/ビーイング

タイアップによるヒット戦略の手法をとり、数多くのミュージシャンを続々とチャートに送り込んでいる音楽制作集団。最近の一連のミュージシャンにありがちな横文字の**意味不明なグループ名**、それも何と読むのか一瞬たじろいでしまうという共通点を持つ彼ら。そのほとんどがビーイング系だと思っただけよい。B'z、T-BOLAN、WANDS、REV、ZARD、その他チューブやウイंकなど。彼らの発出し方としては露出度はできるだけ少なく、そのかわりTVドラマやCMのテーマソングに多く起用し、**あくまでイメージ優先**。曲は常に